

2017

12月号

あさお市民活動レポート

平成29年度麻生区地域課題対応事業
「あさお市民活動レポート」第2巻 第9号
発行日：平成29年12月1日

あさお市民活動レポート

Asao Friends

発行元：認定NPO法人あさお市民活動サポートセンター

司会はやまゆりのイベントではお馴染みの牧野克己さんと成澤布美子さんが担当、ステージには「ゆりがおか児童合唱団」「恵成会（太極拳）」「燦々ソシアル倶楽部」「健康どじょうすくい」の出演、日頃の活動内容を披露した。特に今回結成された「やまゆり運営スタッフ美魔女の会」による「よさこいソーラン踊り」は圧巻であった。



「麻生市民交流館やまゆり」開館10周年記念イベント 11月3日（祝・文化の日）にエルミロード吹き抜けで開催

ブースでは「おもちゃと遊びの会」「やまゆり遊印の会」「ふらつと新百合」「千代ヶ丘絵手紙の会」がワークショップを開催、子ども達のものづくりにチャレンジしたり、でき上がった作品を自慢したりしている姿を目にすることができた。

最後は「どじょうすくい踊り」には観客も参加し、大いに盛り上がった一日であった。理事長 植木昌昭



ステージでは司会者も観客も参加して「どじょうすくい踊り」のコミカルな動きに挑戦



各ブースで行われた物作り体験も大盛況



絵手紙の会の体験コーナーでは来年の干支「戌」の絵はがきづくりを実施



「やまゆり」を紹介するパネル展示

イベントを終えて……

海崎副理事長（あさお市民活動サポートセンター）と飯島販促担当マネージャー（新百合ヶ丘エルミロード）に感想を語ってもらった。

（海崎）やまゆり開館10周年を区民の皆さんに祝ってもらい、また「やまゆり」の活動を広く知ってもらうイベントの会場を検討し、エルミロードさんの1階吹き抜け広場に白羽の矢がたつたわけです。そこで麻生区役所地域振興課に仲介をお願いしました。

（飯島）私も、話を頂戴し、地域との接点を大切にしておりますので、お役に立てればと前向きに検討した結果、11月3日（祝）にできれば子ども達が喜ぶものを是非とお願いしました。

（海崎）日時が決まりましたので、ご要望に沿える団体に打診をしましたが、当日、どれくらいの人たちが集まってくれるか、実は心配でした。シヨップも、人がとだえることなく盛況でした。

（海崎）逆に通路に人が溢れ、整理にお手数をおかけしました。また、撤収もお手伝い頂き感謝しております。

（飯島）今回のイベントを機に、お互いのご縁が深まればと思っております。

（海崎）そつです。よろしく。お願い致します。

海崎副理事長（写真右）と飯島販促担当マネージャー（写真左）



緑がいっぱい、空気もおいしい

島田生長の森緑地管理運営協議会

白山神社の鳥居を背にして前方の坂を20メートルほど上ると入口があり、通り抜ける。木漏れ日が注ぐ200メートルほどの小道は、緑がいっぱいですがすがしく、犬連れや夫婦で散歩する姿を目にする。草花や鳥の鳴き声とともに森林浴も楽しめる。夏には子供がセミやカブトムシを採る。

面積4930㎡のこの森は、36年前に植物生態学者の宮脇昭博士の指導で造られ、付近の字名の「島田」と苗木の「生長」を願って名付けられた。シイ、カシなどのさまざまな常緑広葉樹を密集して植樹し、自然に生長さ



緑のなかを散歩すれば、身も心も晴れ晴れ

せたため、うつそうとしていたが、そこに里山ボランティアが入りスツキリした。その参加者のひとりであった奥山さんが、近隣の仲間4人を誘って協議会を立ち上げ活動を開始。今では新ゆりぐりーんタウンや新百合ヶ丘自治会、新百合ヶ丘第5住宅自治会の住民の会員で維持、改善している。作業は清掃、草刈り、剪定、間伐などで用具は貸し出す。手袋、服装は

各自で準備。

自然の森を目指すので自分たちで草木は植えないが、キンラン、ギンラン、シヤガ、桜、ドウダンツツジ、ツバキが咲き、シジュウカラ、キジバト、メジロ、オナガのほか、運がいいとウズラの夫婦が見られる。機会を見て是非訪ねてほしい。

また成人の会員を募集中。



集まれ、ひよこたち！ママと遊ぼう

ひよこ会

「ひよこ会」は小さな子どもを持つお母さん方が運営する自主育児サークル。1985年、保健婦さんの「母子ともに友だちを得るきっかけになれば」という願いをもとに、数人の親子の活動から広がった。

今年度の代表、上村さんは2児のお母さん。初めての子育てで戸惑いが多かった時期に「ひよこ会」と出会った。「公園で遊んでい

も時間を持て余していました」と話す。入会し、子育ての悩みを話し合うことで随分楽になったという。



さつまいも掘り。大変だったけどこんなに大きいのがとれました

DATA ひよこ会

代表：上村まゆこ
連絡先：hiyokokai@hotmail.co.jp
設立：1985年
会員数：13名（保護者数）
会費：月300円
（2人目以降100円ずつ加算）
対象年齢：未就園児
（外遊びができる年齢）
活動日時：毎週火・金曜日
10時30分～12時
（12時以降は弁当持参で自由参加）
活動場所：百合丘第2、第3、第4公園、
百合丘こども文化センター

動記録のファイルを見せてくれた。10時半集合して朝の会があり、帰りの読み聞かせまでの一連の流れも定着している。ちなみに11月の

取材・文 区民記者 但木かこ

流しそめんといっしょにおもちやお菓子も。真剣にとびつくり子どもたち



朝の歌は「虫のこえ」、母子が寄り添って歌う合唱が秋の公園に響く。

「ひよこ会」は幼稚園入園で卒業する。上村さんにとつて長男が卒業のときにももらった手作りの卒業アルバムは、宝物となった。季節を感じながら過ごしたひよこ時代の思い出が走馬灯のように甦えるという。

只今、会員募集中。見学からぜひ気軽に参加して欲しい。

DATA

しまだせいちよう もりりょくちかんりうんえいきょうざいかい
島田生長の森緑地管理運営協議会

代表：奥山 玲子

連絡先：Tel. 044-987-7335

設立：2015年10月

会員：13名（男性5名、女性8名）

会費：なし

活動日時：毎月第1日曜と2日後の火曜 9～11時

活動場所：島田成長の森緑地

取材・文 区民記者 中島久幸

新たな仲間と創る喜び

夢日和



ミーティング終了後の記念写真。
全員、心地よい疲れといい笑顔

したものから選択し、運営も会員の意思を尊重し、できる限り制約の少ないものにしていく」

そんな会の活動は、浄慶寺など近隣寺院の散策からスタートし、赤坂迎賓館や今話題のサンシャイン水族館にも行ったそう。また今後の予定として、袋田の滝の見物ツアー、大宮盆栽美術館見学、小田原城観梅など、多くの「わくわく感に富んだ自由な」提案が検討されていた。

印象的だったのは、女性の出席者がとても明るく熱意に満ちていたこと。そんな女性たちと、紳士的な雰囲気漂わせる男性たち。そしてその場を満たす楽しい空気。ど

れもが清新で、新しい会と仲間を創り上げる喜びが感じられた。

夢日和では、いま会員を募集中である(入会には、麻生区またはその周辺に在住すること、運営委員会の承認が必要なこと、などの条件がある)

DATA

ゆめびより
夢日和

なかむら たつや
代表: 中村 達也

連絡先: Tel 080-5542-9931

設立: 2017年5月

会員数: 12名

(2017年9月末現在。女性2名、男性10名)

会費: 年3000円(その他、企画により実費負担あり)

活動日: 原則毎月第4日曜

活動場所: 麻生市民交流館やまゆり

取材・文 区民記者 仲原照男

彫れば大人も楽しくなれる

やまゆり遊印の会

「やまゆり遊印の会」は、講師の亀田さんが麻生市民交流館やまゆりで「区民講師」を行ったのをきっかけに発足した。

専用のゴム板で希望する図柄のスタンプを作り、彫る楽しさ、押す楽しさを味わう。葉書大のゴム板を適当な大きさに切り分け、そこに裏返し

にした図柄を彫り込んでゆく。彫りあがったら完成である。木版ほどの硬さはないので、子どもから高齢者までの誰でもが楽しめ、大人でもはまってしまいう魅力を持っている。ゴム板は大きな文具店であれば年間通じて入手でき、彫刻刀も安価なもので大丈夫だという。

亀田さんは、小柄な体つき、飾り気のない性格と服装(これ以上ないくらい似合っていた)、そして一生懸命でエネルギーが豊富な方だった。20歳のころ偶然出会った木彫りを「生涯の仕事にしよう」と決心し、その後、遊(ゴム)印、篆刻(てんこく)、水彩画などへ得意分野を広げてきた。また「草花・樹木たちは、身体の一部のようなものです。」という花作りや家庭菜園も行っている。12月2日、4日には自宅で水彩画展を開催予定とのことである。

そんな亀田さんを囲む「やまゆり遊印の会」は、楽しくて役に立つ場に違いない。

取材・文 区民記者 仲原照男



講師の亀田正子さん

DATA

ゆらいん かい
やまゆり遊印の会
かめだ まさこ

代表: 亀田 正子

連絡先: Tel. 080-3346-1659 Fax. 042-331-0505

設立: 2017年7月

会員: 5名(女性3名、男性2名)

会費: 1000円/回、ほかに材料費

開催日時: 原則毎月第2月曜、14~16時
(変更あり。要確認)

会場: 麻生市民交流館やまゆり



受講生たちの作品



いつの間にかみんな真剣。完成後は歓声!(やまゆりDAY会場にて)

突撃レポート

近年の健康志向の高まりを受けてヨガ教室が大流行。ヨガ専門誌によれば、麻生区内だけでも11〜20箇所の教室が登録されている。その他、スポーツジムや「麻生市民交流館やまゆり」などの施設でも多くの教室が開かれている。

ヨガは古代インドが発祥の地で、心身を鍛錬によって制御し、精神を統一して悟りの境地に至ろうとするものだった。現代は身体的ポーズを中心としたフィットネス的な宗教色を帯びたヨガが主流となっている。

そんななか、2016年4月に新百合ヶ丘駅から徒歩約15分のところに「パラマナン



春・秋の天気の良い日は、新ゆりアートパークスで日差しを一杯受けながら「青空ヨガ」

健康で幸せな最高の人生を送れるように！
パラマナンダヨガ Paramananda Yoga

「ダヨガ」教室ができた。教えるのは、ニューヨークで長年修行を積みヨガのインストラクター資格やインドの伝統的医学に基づく栄養学マスターの資格を得、更にインドでも修行されたアディトリ先生（通称トリ先生）。多くあるヨガ教室と大きく異なるのは、身体的ポーズのヨガだけではなく、ヨガニードラ瞑想（マインドフルネス）やベジタリアン料理も教えることだ。バランスの取れた食事で健康な体を作り、ヨガで体を鍛えながら浄化し、瞑想して心の健康を保つ。これは身体だけではなく心・魂全てをバランス良くすることで、健康で幸せな人生が送れるようになることを目指している教室の信念に通じるものだ。

先生は美大を出てプロのフォトグラファーになるために、ニューヨークにある写真の大学院に進み、長年プロの写真家として活躍されていた。しかし、過労のため身体を壊され、それまで趣味的にやっていたヨガに意識を向け、ヨガを続けることで次第に身体が強くなっていった。ヨガや

瞑想で心身を鍛えようと、どんなことがあってもくじけなない強い精神と身体を作ることができ、最終的には自分を最高の幸せへと導くようになる。こういった経験を多くの人に伝えたいと願っている。

先生のヨガニードラ瞑想教室は、日経ウーマン等から取材され、料理教室もNHKから放映されるなどメディアからも注目されている。

食事、ヨガ、瞑想と自分を高めるためのトレーニングを一緒にしてみませんか？



ファンデーション無しでも素顔が美しいアディトリ先生

DATA

パラマナンダヨガ (Paramananda Yoga)

代表: アディトリ (Aditri)

連絡先: Tel. 044-670-4479

E-Mail: yogaparamananda@gmail.com

HomePage: <http://paramanandayoga.link/>

設立: 2016年4月

活動日: 火曜日を除く毎日 (9時25分〜12時)

活動場所: Ladybug (レディーバグ)

川崎市麻生区上麻生4-18-3

体験レッスン: 1000円

取材・文 区民記者 上治信義

取材申込受け付けます！

「活動を紹介して欲しい」「イベントを取材して」
そんな声に区民記者が応えます。
お申込み内容を編集会議で検討したうえ
改めてご連絡させていただきます。

●応募条件

麻生区を拠点に活動している。または、麻生区在住・在学・在勤者が活動に参加している。

●申し込み方法

- ① 団体名
- ② 代表者名
- ③ 連絡先(電話・FAX・メール)
- ④ 活動内容(イベントの場合は開催日時・料金・内容)を、「あさお区民記者」宛てにFAXまたはメールでご連絡ください。

FAX.044-951-6467

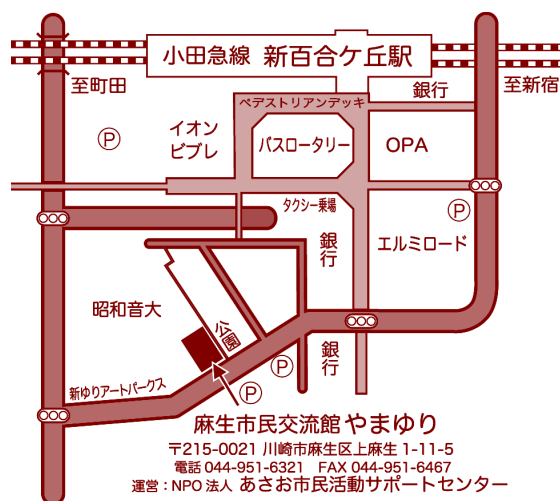
Mail info@asao-ku.net

※但し、選挙、政党・政治団体など政治活動に関わるもの、宗教団体による布教推進を目的とするもの、プライバシーの侵害や業務妨害のおそれのあるもの、差別を助長するものは掲載できません。

あさお区民記者クラブ

「区民による 区民のための情報発信」を目的に活動。
過去の記事や取材後記はホームページをご覧ください。

<http://www.asao-ku.net>



麻生市民交流館やまゆり

〒215-0021 川崎市麻生区上麻生 1-11-5

電話 044-951-6321 FAX 044-951-6467

運営: NPO 法人 あさお市民活動サポートセンター

2017.4